

警告! インターネット「ここが危ない!」ダイジェスト

爆笑問題の過激連載!  
小泉首相とhideの謎  
ブッオフの大失態

# サイノバー

最新  
美少女 宮崎あおいの生ジャージ姿

8

the info-ninja magazine [才蔵]  
august 2001 定価 690円  
2001年8月1日発行 第1巻第2号 (通巻27号)  
表紙/宮崎あおい

「オウム」「法の華」と  
並び称される  
アノ宗教団体が  
本誌を再々提訴!

## 参院選を 10倍楽しむ!

新選挙制度・政局・著名候補占い  
宮崎学、渡部絵美ほかインタビュー

あの有名大型ショップも販売していた?

## 偽物ブランド衣料 大氾濫のウラ

ネットナンパの  
⑧手口

「裏原宿」という病

## お笑い 伏魔殿

田中真紀子外相×外務省の醜聞  
知られざる機密費の使途

潜入! 密会現場  
スキャンダル芸能人御用達  
噂の「焼肉屋さん」  
ベスト10

宅間容疑者(池田小  
殺人事件)  
をめぐる  
法務省vs人権派の  
大論争

大好評  
第2弾!

「モード」から悪徳ネット企業まで、カモられないための新常識

# インターネット ここが危ない 21

被害拡大「モード」事件簿/ドコモのタブー 次世代ケータイ  
問題企業続出 ネット商法/早くも大割れ!? 小泉内閣IT戦略本部  
ハッキング・ネット中毒・ウィルス最新事情





ネットコミュニティを生きる新常識

西和彦氏が  
あの2ちゃんねるで  
大ゲンカ!?

## 「掲示板バトル」からあなたは何を学ぶか?

ある「2ちゃんねる」関係者から、「便所の落書き」と言えども、コミュニティなのだから、どんなに荒れても自浄作用が働く」と聞かされたことがある。にわかには信じがたいが、最近起きたアスキー創設者・西和彦氏の件は、そのことを再考するきっかけになった。

西氏がアスキーの取締役を退任したことが報じられたのは、今年5月21日。それを受け、23日夜には、「2ちゃんねる」のベンチャー板に「アスキーの西氏が取締役を退任 Party」というスレッドが立つ。以降、比較的スローなペースで、西氏を批判するような書き込みが続いていたが、6月10日深夜、nishi kazuhiko 名義で次のような書き込みが行われてから様相が一変する。

「略」はじめてこのページをみたけど、ほんとに驚いた／仮名で話さずに俺のようになを名乗れよ／ちゃんと答えてあげます」

この発言に対して当初は本人の真贋に興味が集まったが、メールアドレスからどうやら本人らしいとなった時点で軽い煽りが入り、nishi kazuhiko も「ここに投稿しているやつはみんな弱虫だ／名前を言わずに噂ばかり／恥ずかしいのか／腰抜け野郎」などと応酬。しかし、白熱しはじめた6月12日、「(略) もう書く

のはこれでやめようと思う／でも、逃げたと思われるのは嫌だから(略) 個人のアドレスにメール頂戴ね」との書き込みを残して nishi kazuhiko が突如退場してしまう。

これを受けて「2ちゃんねる」常連ユーザーが、「時代に取り残された無能な経営者西クンの最後を看取ってやろう」「逆さした西のありようは、ブザマという表現が妥当」などとさらに煽ったためか、西氏は EISEI 名義で復活。バトルの成り行きが注目された。

ところが、西氏の現在の心境や経営哲学、今後のプランについて真面目に問いつける者に対しては、意外と直截に答える nishi に、多くのユーザーが好感をもつてか、煽りや荒しは一気に影を潜めてしまふ。6月下旬には、ゼミ生が課外で教授を囲むような雰囲気なかでの意外に真摯なやり取りが続いていた。

EISEI は「2ちゃんねる」登場の動機を聞かれて、「間違ったことを／当たり前のように／物知り顔して／書く奴がいるもんだから／俺は／そんなやつを許せないんだよ／嫌いだ」と答えている。

掲示板での書き込みについては、名誉毀損だとしてトラブルになることも目立っているが、EISEI が一貫していたのは「実名を名乗ってる人や／メールくれた

人は／仲間だ」という発言に代表されるように、目線が常に他の発言者と同じ位置にあったことだ。

ちなみに西氏は、本誌の取材に対し、「質問にお答えするのでもいいが、『2ちゃんねる』の管理人サイドと対談したい。『サイズ』なら出る」と答えている。

一方、同じく掲示板を舞台にしてこんなバトルも勃発した。

「あなたは、自分が掲示板で発言した文章が、知らない間に本に掲載され、書店で売られていたらどんな気分になりますか」——こうした書き出しで始まるサイトがある。ホテルジャンキーズクラブ(HJC) 掲示板での騒動に関する告発サイトだ。

騒動の発端は、『世界極上ホテル術』(光文社)という文庫本の出版だった。そのなかに書かれた内容が、HJC 掲示板での匿名投稿者のやり取りが無断掲載されたものであったばかりか、一部の発言が改変されていたとして、発言を利用された投稿者が著作権を侵害しているのではないかと疑義を呈したのだ。これに対し、本の著者代表でもある、掲示板の管理人・村瀬千文氏が沈黙を守ったことで常連投稿者たちが反発。村瀬氏の「ホテルジャンキーリスト」としてのモラルや、掲示板



さすが、ケンカの仕方を知っている男!?

運営に対する姿勢を問う声が続出した。だが、村瀬氏側はこれらの発言を次々と予告なく削除。当の村瀬氏は「発言の著作権については当方の認識不足で謝罪するが、荒らし、誹謗中傷発言については営業妨害で刑事告訴する。削除は掲示板の趣旨にそぐわない発言について行ったので、当方に都合の良い発言も含まれている」と言う。

対して告発サイト管理人の X 氏は、「事前に『この掲示板は営利目的で運営されている』という断わりがあればともかく、コミュニティだと思って投稿したものを、突然、無断で商売に使われた挙げ句、ネガティブな書き込みを削除し、あまつさえ訴えるという考え方そのものが理解できない」と話す。

こちらは、掲示板・管理人の初歩的な認識不足というリテラシーの低さが、思わぬトラブルを呼んでいるケースといえる。

(井上トシユキ)